

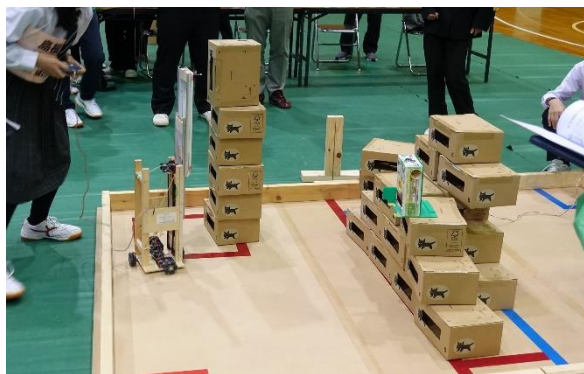


中学生創造アイデアロボットコンテストの審査

教育学部 教授 橋爪 一治

令和6年11月10日に島根県松江市立義務教育学校玉湯学園で開催された島根県中学生創造アイデアロボットコンテスト及び同年12月8日に同園で開催された中国・四国地区大会に、審査委員長として参加しました。県大会は毎年開催されています（島根県開催の中四国大会9年に1回）ので、ご存じの方も多いと思いますが、この大会は中学校技術・家庭科で学習した知識や技能を生かし、ロボットの設計・製作を行います。そしてその成果を発表する場として設けられています。主催は、島根県や中国・四国地区の中学校技術・家庭科研究会であり、島根大学も協力をしています。

競技は基礎、制御、応用、パフォーマンスの4部門に分かれて開催されます。大変に創意工夫をこらした高い技術力を持ったロボットばかりで、熱戦が繰り広げられました。わたしも、審査委員長としてそれぞれのロボットの動作機構の着想や制御技術に驚かされ、審査に苦心しました。



島根県中学生創造アイデアロボットコンテスト応用部門の競技の様子